

2021（令和3）年度 第1回広報委員会 議事録

日時：2021年9月13日（火） 午後8時～午後9時

場所：web 会議システムを利用して実施

出席：田中信弘（担当理事）、藤原 靖（委員長）、安藤 圭、稲毛一秀、重松英樹、
鈴木秀典、田中雅人、成田 渉、播広谷勝三

欠席：安宅洋美、大谷晃司

陪席：鈴木めぐみ（事務局）

【報告事項】

1. 著作権不明のイラスト

田中理事が、学会 HP 上の著作権が不明なイラストについてはすべて入れ替えを完了しているので、当学会での利用であればどのように二次利用しても可能であると報告した。

2. 日本整形外科学会（以下、JOA）の渉外広報委員会からの依頼

田中理事が、すでに委員へはメールで報告済みであるが、JOA の広報委員会にあたる渉外広報委員会の小田剛紀先生（JSSR の理事でもある）から、JOA のホームページへ掲載している患者用の PDF 状のパンフレットについて、「脊椎」の項目について JSSR の広報委員会でリニューアルしてもらえないかとの依頼があったと報告した。また経緯を報告した。本日は本件を中心に議論する。

3. JSSR 認定の外科指導医・NSJ と共同認定している脊椎脊髄外科専門医・JOA の脊椎脊髄病医の違いについて

田中理事が、理事会で以上の3つの資格について、会員内でも差異が不明のため、HP 等で告知してほしいとの依頼が広報委員会にあったが、現在（田中理事が担当理事を兼任している）指導医制度委員会のほうで原案を作成中で、ほぼできているので、その後広報委員会で検討を進める予定であると報告した。

【審議事項】

1. 日本整形外科学会（以下、JOA）の渉外広報委員会からの依頼

田中理事が、上記報告事項の依頼が JOA からあった件について、委員全員の意見を聞きたいとして、藤原委員長が全員の意見を徴収した。

主な意見として

- ・今回この依頼を断ることもできる。今回受けてしまうと、今後も JOA の HP のパンフレットで脊椎部分が古くなったら、JSSR が更新するということになるだろう。
- ・JSSR の HP を 1~2 年ほど前にリニューアルしているが、そのとき疾患についてのページをリニューアルしており、それと JOA のパンフレットの違いはどうなるのか。
- ・手外科学会が JOA の HP で展開している「手外科シリーズ」ほどのもの（たとえば、脊椎の全疾患について「脊椎シリーズ」など）を作成するのは難しい。
- ・今回依頼されている「6つの疾患」のパンフレットには、腰痛や側弯症の件が含まれていたが、腰痛学会や側弯症学会へは依頼されないのか。JSSR から側弯症学会に依頼するなどしたほうがよいか。
- ・または作成後に、それらの学会へ査収を依頼したほうが良いのか。ガイドラインは作成時に多くの関係者の査収を通常とするが、患者用のパンフレットの場合はどうか。
- ・図表や写真、イラスト等を差し替えるにあたり、費用が掛かった場合、出どころはどこになるのか（JOA なのか JSSR なのか）。
- ・手外科シリーズでは、JOA のネームは入っておらず、「監修 一般社団法人日本手外科学会」となっているが、今回はどうなるか。協力するのであればどちらが先でもよいので、ダブルネーム「監修 JOA & JSSR」というような形が理想。
- ・ダブルネームになれば、JSSR でもそのパンフレットを使えるということになるので、現在 HP に掲載している「印刷用 PDF」を日整会のパンフレットをリニューアルすると同時にリンクして更新していけば、良いのではないか。
- ・指定された 6 つの JOA のパンフレットを確認したが、それほど修正が必要な文言は確認できなかった。画像を入れ替える程度でよいのではないか。・JOA のパンフレットと JSSR の HP に載せている症例の文言は文字数や項目立てで大きく異なっている。そのまま流用というわけにはいかないのではないか。特に文章量が多いので、今のままのフォーマットとすると、JSSR の文章を流用するにしてもかなり膨らませる必要があるのではないか。
- ・JOA のパンフレットは文字が小さすぎて文字で情報を詰め込みすぎているように感じる。脊椎疾患の対象はお年寄りが多いので、手外科シリーズのように文字は可能な限り大きくしてはどうか。

以上のような意見があり、以下をまとめとすることになった。

1. JOA からの依頼は引き受ける。
2. ただしネームはダブルネームにしてもらいたいことを田中理事から小田先生へ伝えてもらい、JOA 渉外広報委員会で検討してもらう。ダブルネームになったら、JSSR の HP へもそのパンフレットをリンクし、JSSR のほうもリニューアルしていく。
3. すでに藤原委員長によって割り振られたペアで、JOA のパンフレットの「6つの疾患」に

ついて、どの部分をどう直すかを次回の委員会までに検討してくる。

4.次回委員会は 1-2 か月後とする。

以上